

(記載例)

記載順は「原著（欧文原著）」「原著（和文原著）」「著書」「総説」「特許」「学会発表」「その他」の順とし、それぞれ以下の要領を参考に、記載してください。

● 以下は記載例（記載要領）となります。

	業	績	目	録
				<u>氏 名 福 島 一 郎</u>
1	原	著		
1-1	欧	文	原	著
1-2	和	文	原	著

(記載要領)

- ・発表年の新しい順に記載する。
- ・記載は、番号（連番）、著者名（全員を記載し、本人にアンダーライン）、題名、誌名、巻、始頁－終頁、発表年の順番で記載する。（下記記載例参照）
- ・出版予定のものについては、掲載証明を添付する。

(記載例 1 欧文原著)

1. Aaaa A, Bbbb B, Cccc C, Fukushima I., 000000000 0000 000000, ΔΔΔΔ ΔΔ, 47, 58-64, 2007.
- 2.

(記載例 2 和文原著)

1. 福島一郎、医大和子、医学太郎、0000 0000 000000, ΔΔΔΔ ΔΔ, 9, 779-781, 2007.
- 2.

2 著 書(記載方法は原著に同じ。)

3 総 説(記載方法は原著に同じ。)

4 特 許

5 学会発表

(記載要領)

- ・国内学会の発表は特別講演、招待講演、シンポジウム及びワークショップの発表のみ、国際学会あるいは国際的な学術集会については一般発表も記載する。
- ・国際学会と国内学会に大別し、番号（連番）、発表者名（本人にアンダーライン）、題名、会名、場所、発表年の順に記載する。さらに、末尾に特別講演、招待講演、シンポジウム及びワークショップ等の別を（ ）書きで記載する。（下記記載例参照）

(記載例)

(国際学会)

1. Fukushima I., Idai K, 000000 0000, □□□□□□ symposium, Vienna, 2007
2.

(国内学会)

1. 福島一郎, 0000000000, 第〇〇回日本〇〇会総会, 東京, 2007 (シンポジウム)
2.

6 その他

(レター、ニュース、プロシーディング等、上記に該当しないものを記載する。その他の記載方法は原著に同じ。)